

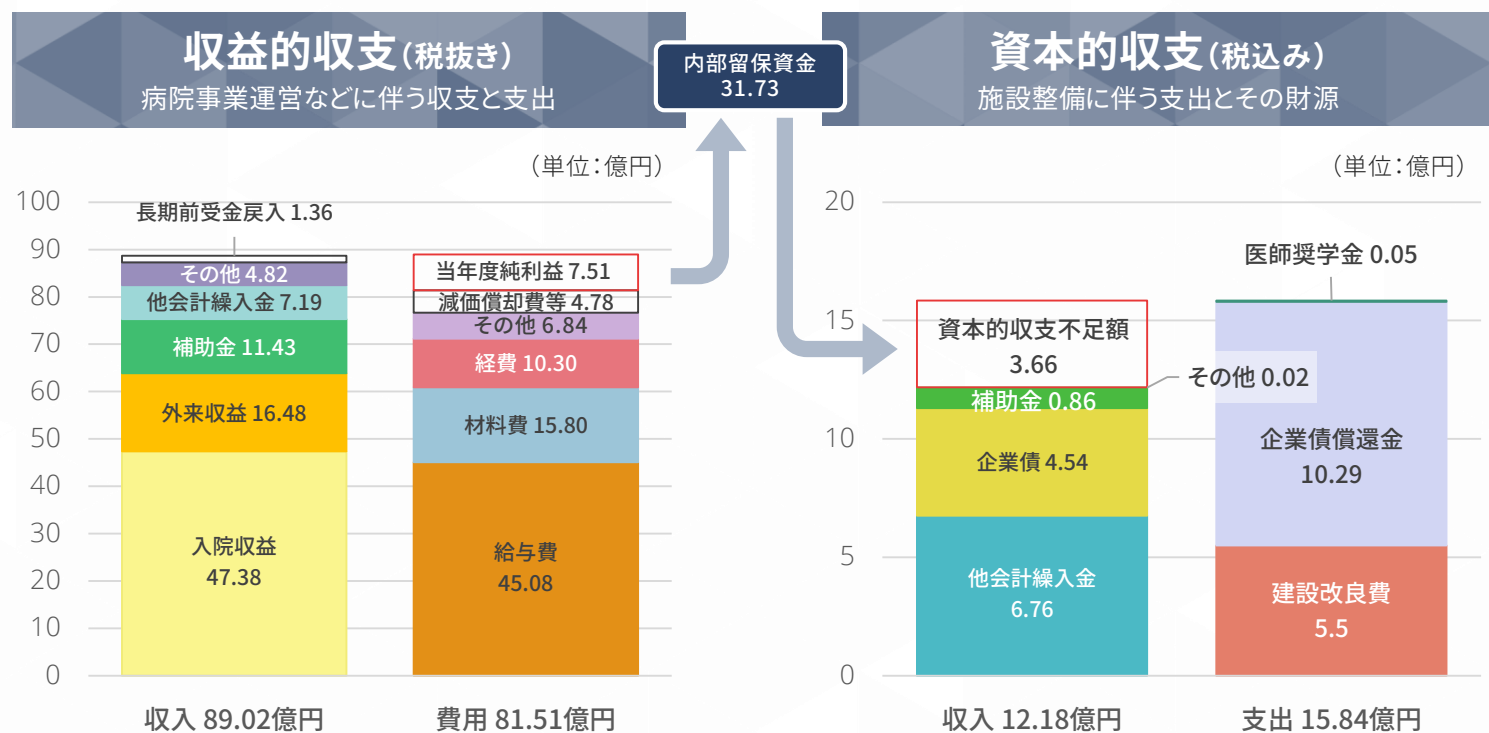
令和3年度 病院事業会計の決算状況

令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)病院事業会計の決算は、令和4年9月市議会定例会で認定されました。

病院事業の運営や施設の維持管理に関する収益的収支では、医業収益が前年度より約2億1,000万円増加したことに加え、新型コロナウイルス対策に全面的に協力したことに対する国からの補助金が交付されたことなどにより、7億5,100万円の当年度純利益(黒字)となりました。

また、資本的収支では、新たな医療機器として手術支援ロボット「ダヴィンチ」の導入を行い、収支差引不足額3億6,600万円を内部留保資金で補填しました。

当院では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により大きく経営状況が変化する中、今後も、高度医療や救急医療、がん診療に加え、地域包括ケアシステムで求められる高齢者医療、在宅医療を確保し、地域住民のみなさまへの医療の提供に努めていきます。



用語解説

減価償却費

施設や設備の新設・改良にかかった費用を、耐用年数に応じて毎年費用化したもの(現金支出を伴いません)

長期前受金戻入

施設や設備の新設・改良にあたり交付を受けた補助金等の収入を、減価償却費相当分について毎年収益化したもの(現金収入を伴いません)

他会計繰入金

病院事業会計で受入する、市の一般会計が負担すべき経費相当額

建設改良費

施設や設備の新設・改良にかかった費用

企業債

施設や設備の新設・改良費用を賄うための借入資金

内部留保資金

減価償却費など、現金の支出がない費用計上を含む収支によって生じた資金